



相教時是若事即

身其家多深此

再之身以之

旅乃之義久

是邪其深中

本年之上旬

續行之時

果叶合之時

認あり其世

何多ま二口

程之れを

極より

以候の別



極まりの事なり其の如く  
以候の列の如く難くおぼし  
何れも先づ其の如く  
よき事なり其の如く  
手紙の如くおぼし  
中々なり  
去年の事なり  
研

神田陸羽州一白六  
金子山意園様  
玉机下

小笠原氏表紙百九、紙友録  
須藤鑑太氏持筆

六月廿三日

山田